

大分市介護支援専門員協会

令和6年度 総会

議 案 資 料 集

日 時 : 令和6年6月8日(土)14時00分～16時00分

場 所 : コンパルホール 302会議室

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 定足数確認

4 議長選出

5 議事録署名人選出

6 議 事

第1号議案 令和5年度事業報告について

第2号議案 令和5年度決算報告ならびに監査報告について

第3号議案 令和6年度事業計画（案）について

第4号議案 令和6年度予算（案）について

その他

7 閉 会

令和5年度 事業報告

【大分市介護支援専門員協会の現況】

| | | | |
|-------|------|--------|-------------|
| ○正会員数 | 270名 | 新規入会者 | 40名 |
| | | 退会者 | 15名（支部移動1名） |
| | | 会費未納退会 | 0名 |

【会議】

○総会

日 時：令和5年6月17日（土）14：00～16：00

場 所：鶴崎行政センター

参加者：183名（うち委任状提出者160名）

○理事会（全6回）

①R5.5.22 ②R5.6.14 ③R5.8.7 ④R5.10.30 ⑤R6.12.15 ⑥R6.3.25

【研修】

○第1回 大規模研修 参加者数：334名（内県会員148名 非会員41名）

日 時：令和5年10月11日（水）14：00～16：30

場 所：オンライン研修（Zoomミーティング）

内 容：「適切なケアマネジメント手法

～法改正でケアマネジャーに求められる役割～

講 師：日本介護支援専門員協会常任理事（茨城県協会） 能本守康氏

○第2回 大規模研修 は中止

九州・沖縄ブロック研修会に協力参加者数：1191名（内市会員117名 市非会員8名）

日 時：令和6年2月7日（水）13：00～16：30

場 所：オンライン開催

内 容：令和6年度介護保険制度改正と

法定研修カリキュラム見直しからみるケアマネジャーが担う役割とは！

講 師：厚生労働省老健局地域介護推進課・日本総合研究所 齊木大氏

【その他】

○大分市高齢者保健福祉計画及び第8期大分市介護保険事業計画策定委員会⇒委員推薦

○大分市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会⇒委員推薦

○大分市在宅医療・介護連携会議⇒委員推薦

○在宅医療多職種連携会議⇒委員推薦

○大分市成年後見制度利用促進に係る連携会議⇒委員推薦

○研修部各研修委員による研修及び理事会主催による大規模研修

○大分県介護支援専門員研修主催による法定研修の受付業務

○LINEによる情報発信

【令和5年度を振り返って】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったことを鑑み、内容や規模、感染状況により、集合またはオンラインを活用して会議及び研修を開催しました。

今年度の大規模研修は300人を超える方が参加してくださいました。人数制限なく研修を開催できることは、オンライン開催による大きなメリットだと思います。一方で、これだけの参加者を事務局だけで事務作業を担うことは、かなり負担が大きい点が課題といえます。今年度は、九州・沖縄ブロック研修会が開催され、第2回目の大規模研修は中止とさせていただきます。これらの研修を通じ、他市協会から「研修を思うように開催することができないため、大分市や県の研修に参加させてもらえて助かる」という声をいただきました。今後は、県協会や他市協会と協力をしながら大規模研修を開催することで、事務局の負担を軽減することも考えていければと思います。

会員の皆様には、研修申込みやアンケート集計でのGoogleフォームの活用、及びZoomミーティングの使用にも慣れていただくことができました。お陰様で、協会運営が大変スムーズに行えるようになりました。このことは、事務局だけでなく、各委員会の事務負担の軽減につながりました。

協会LINEは5分の4の方が登録してくださっており、研修案内、情報発信、研修受付など、有効に活用していただいています。印刷費や郵送代の経費削減と、事務作業の軽減にもつながっているため、今後も継続していきたいと思っています。

今年度は各分区活動や研修会が集合で行われました。会の目的でもある「顔の見える関係」が深まったのではないかと思います。今後も継続していきたいと思っています。

令和5年度 組織強化部 事業報告

【令和5年度 活動目標】

1. 会員の増加を図る。
2. ブロック活動を推進する。
3. 大分市介護支援専門員協会が開催する研修等について各機関・事業所へ開催案内を送る。
4. 大分県介護支援専門員協会の法定研修の運営を支援する。

【具体的な取り組み】

1. 大分市介護支援専門員協会の組織体制の強化を図ることができた。

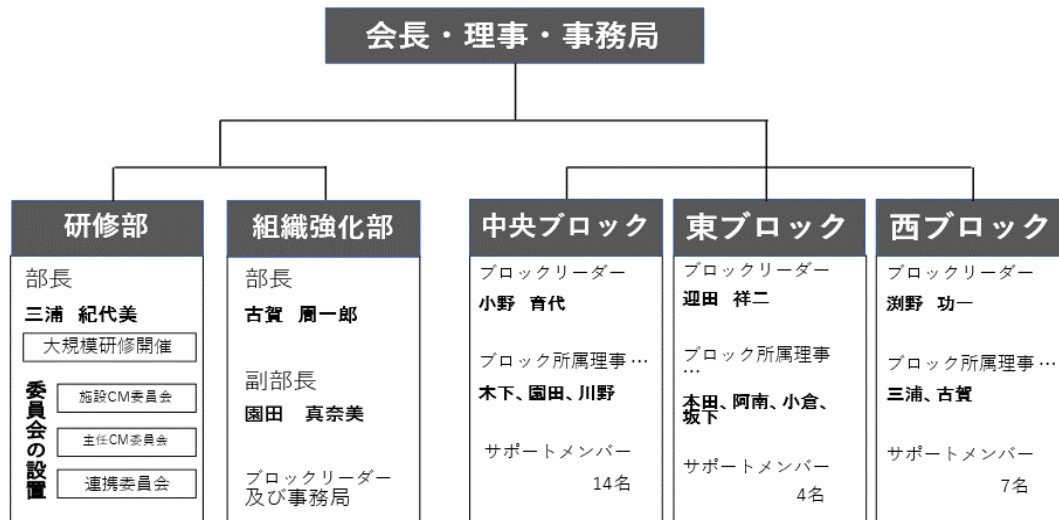
部会は「研修部」「組織強化部」を設置し、研修部活動として「施設ケアマネ委員会」「主任ケアマネ委員会」「連携委員会」を新設した。各委員会はそれぞれの目的に沿った研修等を企画・運営を行った。

また、全会員に向けてサポートメンバー募集のチラシを配布し、サポートメンバーの増員を図った。

○施設ケアマネ委員会…介護保険施設等に勤務するケアマネジャーを対象とし、ケアマネジャーの質向上や連携推進に向けた研修等を企画・運営した。

○主任ケアマネ委員会…主任介護支援専門員を対象とし、ケアマネジャーの指導・支援に向けた研修等を企画・運営した。

○連携委員会…他の職能団体との連携推進に向けた研修等を企画・運営した。



ブロックの役割・・・主に名簿管理、各種連絡、発送、入会促進など

2. 各ブロックで、会員の交流会を開催した。

| ブロック名 | 日時 | 会場 | 参加人数 |
|--------|-----------|-----------------------------|------|
| 中央ブロック | 令和6年1月19日 | ホルトガーデン | 14人 |
| 東ブロック | 令和6年2月9日 | 「倅せな色男」 | 15人 |
| 西ブロック | 令和6年2月16日 | 熱波点心四川小皿料理 「愛心包(あいしんぱお)」 | 11人 |

3. 理事とサポートメンバーが協力して研修受付を行った。

大分県介護支援専門員協会が主催する大分県介護研修センターでの法定研修については、大分市協会が受付を担当している。令和5年度は、研修自体がハイブリッドが多かったが、サポートメンバーに協力してもらい、多くの会員で研修受付を行うことができた。

また、各ブロックとも理事とサポートメンバーのLINEグループを立ち上げ、連絡の効率化を図ることができた。

- 主任介護支援専門員更新研修・・・令和5年7月～10月 受付参加 15日 延べ47名が協力
- 主任介護支援専門員研修・・・令和5年12月～令和6年3月 受付参加 16日 延べ30名が協力

4. 大分市介護支援専門員協会が開催する研修案内について周知を図った。

大分市介護支援専門員協会が開催する研修について、会員のみならず大分市内の事業所に向けて案内を行い、周知を図った。方法としては各ブロックごとに、地域内の事業所に分区所属理事がFAX送信を行った。

- 令和5年10月11日開催分(大規模研修)・・・
大分市内の全居宅介護支援事業所、全地域包括支援センター、全介護保険施設に案内FAX送信する。
- 令和5年8月18日開催分(主任ケアマネ研修)・・・
大分市内の全居宅介護支援事業所、全地域包括支援センターに案内FAX送信する。
- 令和5年9月12日開催分(施設ケアマネ研修)・・・
大分市内の入所施設(111事業所)に案内FAX送信する。

令和5年度 研修部 施設ケアマネ委員会 事業報告

【活動目標】

- 施設ケアマネ同士のつながりを作り、意見交換や相談ができる環境作りを行う。
- 施設ケアマネ向けの研修を行い、入所施設におけるケアマネジメントの質の向上を図る。

【活動内容】

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 参加者数 | 内容 |
|---|---------------------------|------------------|------|--|
| | 5月11日 | 楓介護保険相談センター | 5 | 令和5年度活動打ち合わせ |
| | 6月22日 | 楓介護保険相談センター | 6 | 第1回研修打合せ |
| | 9月7日 | Zoom | 6 | 第1回研修打合せ |
| 1 | 9月12日 13:00～ 15:00 | Zoom | 20 | 第1回 研修会 「ターミナル期におけるケアプランを学ぼう」 講師：介護保険相談センターTONERIKOの木大分 小川 裕氏 |
| | 10月5日 | Zoom | 6 | 第1回研修反省会・第2回研修打合せ |
| 2 | 11月11日 19:00～ 21:00 | ダイニングバル22 大分店 | 15 | 第2回研修会 名刺交換会 |

【振り返り】

○令和4年度のアンケートで希望の多かったターミナル期のケアプランについて研修会を行った。参加者20名のうち10名が非会員の参加であった。当初は20～30名で想定していたが、同時期に老健協会主催のターミナル研修があったことも多少の影響があったと思われるが、参加者には好評をいただいた。他施設への取り組みやACPの内容をどのようにケアプランに反映させるのか知ることができたとの意見が多かった。

○今年度は、施設ケアマネ同士のつながりを作り、相談できる関係づくりのため名刺交換会を行った。感染症の流行期であったが15名の参加があり、日頃の悩みや疑問点などを聞き、顔の見える関係づくりの一役を担うことができた。今後もつながりを拡大していけるように次年度の研修計画を検討する。

令和5年度 研修部 連携委員会 事業報告

【活動目標】

- 他職能団体との連携を図り、お互いに高め合える活動を展開する。
- 地域包括ケアを意識し、連携の要としての介護支援専門員の役割を構築する。
- 多職種と知識や理解を深め、実践につながるネットワークを構築する。

【研修内容】

- ケアマネジメントの質の向上とネットワーク構築を目的に年3回研修開催。
- コロナ禍で希薄となった関係機関との連携を再構築する。
- 医療・介護連携促進のため、医師、看護師との研修会を継続する。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、集合研修での開催を行う。

【活動内容】

| 回 | 開催月日 | 研修場所 | 参加者数 | 内容 |
|---|--------|---------------|---------------------------|---|
| | 8月1日 | レゾナックドーム | 4 | 第1回研修打合せ |
| | 9月12日 | Zoom | 8 | 第1回研修会打合せ(シンポジスト) |
| 1 | 9月28日 | コンパルホール | 31 | 第1回研修会 「高齢者の精神疾患について」 ～多職種から学ぼう～ |
| | 10月19日 | Zoom | 3 | 第2回研修会打ち合わせ |
| | 11月22日 | あおば介護相談センター | 4 | 第2回研修会打ち合わせ |
| 2 | 12月13日 | レゾナックドーム | 54 | 第2回研修会 「社会資源を知る」 ～身寄りのない方等への支援方法を考える～ |
| | 1月31日 | Zoom | 5 | 第3回研修会打合せ |
| 3 | 3月16日 | ソレイユ (懇親会) | 33 医師7 NS11 CM15 | 第3回研修会 「第7回 医師・訪問看護師・介護支援専門員 の連携を深める研修会 ～より良いACPとするために～」 |

【振り返り】

- 第1回研修会は精神科医、PSWなど精神科領域に関わる職種の役割について学び、理解が深まったという感想を多く頂いた。
- 第2回は成年後見や居住支援、身元保証についての研修会であった。グループワークも行ったが、担当する事例について介護保険制度だけでは解決しない複雑さや難しさを感じているケアマネが多数見られ、1回目を通じて介護保険制度以外を学ぶ機会の重要性を感じた。
- 第3回研修は昨年度に引き続きACPIについての研修会であったが、他職種理解につながった。グループワークを通じて楽しく学ぶことができたという意見が多かった。
- 今年度は全て集合研修で行ったが、定員に対して想像以上に参加者が多くなったため手狭になってしまった。今後は研修環境にも配慮したい。久しぶりに集合研修のためグループワークなどがとても盛り上がり好評だった。Zoomの良さや集合の良さをそれぞれ使い分けていきたいと思う。

令和5年度 主任ケアマネ委員会 事業報告

【活動目標】

- 主任ケアマネが連携し、自ら課題の発見と解決のために自主学習を行う。共同して実力向上を図る。
- 法令の解釈ができるようになる。法令遵守に基づくケアマネジメント業務について、共に学び合い、公正中立かつ利用者本位の事業所を共に目指す。
- スーパーバイザーとして、人材育成を行うための指導力を養う。
- 主任ケアマネ同士で意見交換ができる場を作り、気軽に相談し合える基盤づくりを行う。

【研修内容】

- 主任ケアマネが参加できる研修を3回開催する。
- 基礎研修では、同じ研修を経験の浅い事業所のケアマネと主任ケアマネと一緒に受講し主任ケアマネは指導に重きを置いた意見交換ができるように、経験の浅いケアマネとは分けてグループワークを行う。
- 管理者・主任ケアマネとしてハラスメントや報酬改定について学ぶ

【研修報告】

| 回 | 開催月 | 研修場所 | 参加者数 | 内容 |
|---|---------------------------|------------------------|------------------------|--|
| | 5月12日 | ライフサポートまなと | 6 | 今年度準備会 |
| | 7月27日 | ライフサポートまなと | 6 | 準備会① |
| 1 | 8月18日 14:00～ 16:40 | アートプラザ2F 研修室 | 34 (新cm17 主cm17) | 基礎研修 「管理栄養士に学ぶ」 ～糖尿病や腎機能障害高齢者の生活習慣や栄養管理～ 講師:ヒカリノ診療所 管理栄養士・在宅栄養専門管理栄養士 廣瀬明子氏 |
| | 同日 | 会場にて | 6 | 基礎研修反省会 |
| | 10月6日 | ライフサポートまなと | 6 | 準備会① |
| | 11月7日 | ライフサポートまなと | 6 | 準備会② |
| 2 | 11月17日 14:00～ 16:00 | レゾナックドーム 地下1FB1-406 | 77 (非会員4) | コンプライアンス研修 「ハラスメント対策」 ～事業所が取り組むべきことを学ぼう!～ 講師:社会福祉法人リデルホーム施設長 石本純也氏 日本介護福祉士会前会長・熊本県介護福祉士会会長 |
| | 12月8日 | ライフサポートまなと | 6 | コンプライアンス研修反省会 |
| | 2月14日 | ライフサポートまなと | 5 | 人材育成研修打合せ |
| | 3月13日 | ライフサポートまなと | 5 | 人材育成研修打合せ |
| 3 | 3月15日 14:00～ 16:30 | 大分東部公民館 大会議室 | 77 | 人材育成研修 「金子先生による、令和6年度介護報酬改定の解説」 講師:県立広島大学教授 金子努氏 |
| | 同日 | 会場にて | 5 | 反省会 |

【振り返り】

- 基礎研修では、主任ケアマネと5年未満のケアマネと一緒に学ぶことができた。別々にワークをすることにより視点(指導・事例検討)を変えた意見交換ができ、発表により共有できた。
- ハラスメント研修では、必要な対策や具体例などを学ぶことができた。
- 報酬改定研修では、タイムリーな内容の研修であったため、すぐに定員(80名)となった。
- 今年度は3回とも講師を呼んでの研修。内容は詰めて考えたが、当日の研修委員にかかる負担軽減を図った。
- 今年度の研修は、バランスよく、それぞれ充実した内容だった。
- 今年度は3回とも、集合研修で開催。感染症のリスクは上がるものの、グループワークなどを考えると集合研修の方が盛り上がりを見せた。申込みやアンケートは昨年度に引き続きGoogleフォームを利用した。それにより、準備やまとめの煩雑さが大いに軽減された。
- 来年度以降も集合研修を基本として、人数や内容によってZoomと使い分けていく必要がある。

令和5年度 収支決算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(1) 収入の部

| 勘定科目 | | 決算額 | 予算額 | 差 額 | 前年度決算額 | 備 考 | |
|---------|---------|-----------|-----------|----------|-----------|--------------------------|--|
| 会費収入 | 正会員会費 | 3,603,000 | 3,570,000 | 33,000 | 3,207,500 | 会員285名(内新規40名、未入金0名) | |
| | 賛助会員会費 | 個人会員会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 団体会員会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業収入 | 大規模研修収入 | 271,000 | 200,000 | 71,000 | 169,000 | 県協会(148人)・非会員(41人)の研修参加費 | |
| | 委員会研修収入 | 10,000 | 50,000 | ▲ 40,000 | 45,000 | 非会員(10人)の研修参加費 | |
| 寄付金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 受取利息 | | 30 | 30 | 0 | 29 | | |
| 雑収入 | | 0 | 10,000 | ▲ 10,000 | 1,880 | | |
| 当期収入合計 | | 3,884,030 | 3,830,030 | 54,000 | 3,423,409 | | |
| 前期繰越金 | | 3,675,018 | 3,675,018 | 0 | 3,568,249 | | |
| 収 入 合 計 | | 7,559,048 | 7,505,048 | 54,000 | 6,991,658 | | |

(2) 支出の部

| 勘定科目 | | 決算額 | 予算額 | 差 額 | 前年度決算額 | 備 考 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------------------------------|
| 事業費 | | 369,253 | 870,000 | ▲ 500,747 | 493,914 | |
| | 連携委員会 | 99,943 | 100,000 | ▲ 57 | 28,944 | 講師費用、委員会費用等 |
| | 主任ケアマネ委員会 | 83,273 | 100,000 | ▲ 16,727 | 112,870 | 講師費用、委員会費用等 |
| | 施設ケアマネ委員会 | 20,018 | 100,000 | ▲ 79,982 | 24,100 | 講師費用、委員会費用等 |
| | 大規模研修 | 55,000 | 300,000 | ▲ 245,000 | 320,000 | 講師費用 |
| | 組織強化部 | 2,600 | 50,000 | ▲ 47,400 | 0 | |
| | 分区活動 | 108,419 | 120,000 | ▲ 11,581 | 0 | 中央36362円、東40000円 西32057円 |
| | 事業費その他 | 0 | 100,000 | ▲ 100,000 | 8,000 | 日本介護支援専門員協会研修参加なし |
| 管理費 | | 3,500,724 | 3,531,000 | ▲ 30,276 | 2,822,726 | |
| | 会議費 | 34,483 | 50,000 | ▲ 15,517 | 24,461 | 理事会 |
| | 旅費交通費 | 97,000 | 200,000 | ▲ 103,000 | 61,500 | 法定研修交付交通費 |
| | 通信費 | 183,976 | 140,000 | 43,976 | 176,330 | 郵便、切手、携帯電話 |
| | 消耗品費 | 83,088 | 30,000 | 53,088 | 5,040 | 封筒印刷代、USB、文具、用紙代等 |
| | 印刷製本費 | 80,765 | 50,000 | 30,765 | 26,376 | 印刷費 |
| | 什器備品代 | 6,080 | 50,000 | ▲ 43,920 | 5,080 | セキュリティソフト |
| | 諸会費 | 2,292,000 | 2,271,000 | 21,000 | 2,099,500 | 大分県協会・日本協会会費 |
| | 支払手数料 | 38,852 | 40,000 | ▲ 1,148 | 36,433 | 振込手数料、口座振替手数料 |
| | 事務代行費 | 600,000 | 600,000 | 0 | 360,000 | 事務局長2万円/月、補佐2万円/2人/月 場所代1万円/月 |
| | IT関連費用 | 84,480 | 100,000 | ▲ 15,520 | 28,006 | Zoom使用(29480円) LINE使用料(5500円×10ヶ月) |
| 当期支出合計 | | 3,869,977 | 4,401,000 | ▲ 531,023 | 3,316,640 | |
| 来期繰越金 | | 3,689,071 | 3,104,048 | 585,023 | 3,675,018 | |
| 支 出 合 計 | | 7,559,048 | 7,505,048 | 54,000 | 6,991,658 | |

令和5年度 監査報告

大分市介護支援専門員協会規約第11条第4項に基づき、会計監査を行った結果、収支決算書、帳簿、証拠書類等は適正に処理されていたので、ここに報告いたします。

令和 6年 6月 6日

監 事 古村 久美子

監 事 後藤 弘子

第3号議案 令和6年度事業計画（案）について

【事業の概要】

○重点事項

- ・運営の3つの柱の充実
※情報発信、社会貢献、資質向上と交流促進
- ・組織体制の変革と発展

○協会活動

- ・研修部（施設ケアマネ委員会、連携委員会、主任ケアマネ委員会）（別紙補足資料）
- ・組織強化部（別紙補足資料）
- ・ブロック（中央・東・西）（別紙補足資料）

○会議

- ・総会 年1回
- ・理事会 年6回
- ・委員会 随時（各委員会毎に設定）
- ・ブロック 随時（各ブロック毎に設定）
- ・第1回 大規模研修 (Zoom)
日 時：令和6年10月
内 容：「楽しく学ぼう面接技術（仮題）」
講 師：久留米大学教授 片岡靖子氏（予定）
- ・第2回 大規模研修 (Zoom)
日 時：令和6年12月
内 容：「幸福であるかどうかに認知症の有無は関係ない（仮題）」
～最新の治療薬と認知症の方への接し方～
講 師：順天堂大学 医学部名誉教授 アルツクリニック東京 院長 新井平伊氏（予定）

○その他

- ・大分市高齢者保健福祉計画及び第9期大分市介護保険事業計画策定委員会への参加
- ・大分市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会への参加
- ・LINEによる情報発信

【令和6年度の取り組みについて】

今年度は280人の会員の皆様と一緒にスタートします。お陰様で、10年前の2倍以上の会員数となりました。会員数が増えることで、無料で研修に参加していただけたら、より充実した内容の研修企画が組めるようになっていきます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

昨年度、会員の方から「ベテランのケアマネを対象とした研修が多い。基礎的な研修もお願いしたい」との声をいただきました。そこで、今年度の大規模研修は、ベテランケアマネだけでなく、経験の浅いケアマネの方も興味を持っていただけるような内容を企画したいと考えています。

今年度は10月と12月の2回、大規模研修を開催する予定です。第1回は「面接技術」をテーマに、第2回は「認知症」をテーマにした研修を開催する予定です。上記に掲載している日程、演題及び講師はあくまでも予定です。日程調等の都合で、変更になる場合がありますので、ご了承ください。開催時間は午後の時間帯の2時間30分から3時間を予定しています。（主任更新の受講要件は、4日以上かつ10時間以上の研修です。毎年「1時間不足しているのですが」といったお問い合わせがありますのでご注意ください。）

今年度も8割の会員の方がLINE登録をしてくださいました。引き続き研修の申し込み案内や情報発信をしていく予定です。よろしくお願いいたします。

組織強化部より計画案がありますが、今年度も各ブロックで懇親会を開催したいと思います。コミュニケーションを図ることで、研修や仕事とは違った一面が見られ、交流が深められることと思います。補助金も用意しておりますので、多数の方にご参加していただければと思います。

令和6年度 組織強化部 事業計画(案)

【目的】

大分市介護支援専門員協会の組織体制の充実と強化を図るとともに

上位組織である大分県介護支援専門員協会の活動を支援することを目的とする。

【活動目標】

1. 会員の増加を図る。
2. ブロック活動を推進する。
3. 大分市介護支援専門員協会が開催する研修等について各機関・事業所へ開催案内を送る。
4. 大分県介護支援専門員協会の法定研修の運営を支援する。

【活動内容】

1. 会員の増加を図る。

○ブロック理事及びサポートメンバーを中心に、新規合格者や未加入者への入会案内を行う。

2. ブロック活動を推進する。

○会員相互の交流を促進するために、ブロックごとの交流会開催を推進する。
○ブロックごとに会員名簿の確認を行い、登録内容の変更が必要であれば事務局と連携し、変更届の提出を促すなど会員の便宜を図る。

3. 大分市介護支援専門員協会が開催する研修等について各機関・事業所へ開催案内を送る。

○研修内容に応じて、ブロック内の事業所等への案内文書の送付等を行う。

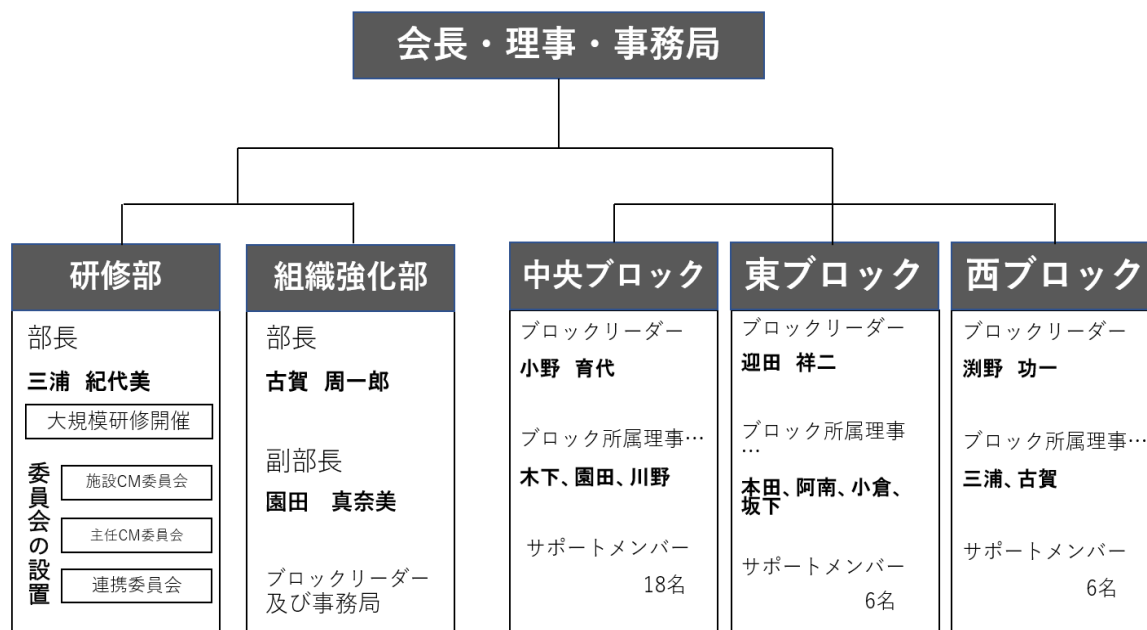
4. 大分県介護支援専門員協会の法定研修の運営を支援する。

○大分県介護支援専門員協会が運営委託をされている主任介護支援専門員研修及び主任介護支援専門員更新研修の受付業務を行い、その運営を支援する。

- ◆主任介護支援専門員更新研修 令和6年7月5日～11月23日
- ◆主任介護支援専門員研修 (詳細未定)

令和6年度 組織強化部 事業計画（案）補足資料

(図-1) 令和6年度 大分市介護支援専門員協会 組織体制図



ブロックの役割・・・主に名簿管理、各種連絡、発送、入会促進など

(表-1) 研修部 委員

| 施設ケアマネ委員会 | 主任ケアマネ委員会 | 連携委員会 |
|------------|------------|------------|
| 坂下知可 (委員長) | 迎田祥二 (委員長) | 川野里奈 (委員長) |
| 岩本美佳 | 三浦紀代美 | 淵野功一 |
| 園田真奈美 | 衛藤航介 | 御手洗久美 |
| 阿南富貴子 | 安達豊子 | 和田亮二 |
| 小川裕 | 阿南富貴子 | 後藤弘子 |
| 原徳美 | 立協寧子 | 工藤美奈子 |
| | | 菅 康子 |

(表-2)各ブロックの地域割表(地域包括支援センター圏域を基準にする)

| 中央ブロック | 東ブロック | 西ブロック |
|--------|-------|-------|
| 上野ヶ丘 | 原川 | 城南・賀来 |
| 碩田 | 鶴崎 | 植田 |
| 王子 | 大東 | 植田東 |
| 大分西 | 東陽 | 植田西 |
| 南大分 | 大在 | 植田南 |
| 城東 | 坂ノ市 | 野津原 |
| 滝尾 | 佐賀関 | 竹中・判田 |
| 明野 | | 戸次・吉野 |

(表-3)各ブロックのサポートメンバー 一覧(敬称略 アイウエオ順)

| 中央ブロック | | 東ブロック | 西ブロック |
|--------|--------|--------|--------|
| 石田 このみ | 長野 久美子 | 河野 利文 | 足立 真央 |
| 岡田 咲美 | 野田 京子 | 川野 三枝 | 甲斐 亮一 |
| 緒方 洋介 | 湊野 寿信 | 秦野 尚子 | 城井 典子 |
| 柏村 綾子 | 帆足 健太郎 | 南篠 江利子 | 吉良 早苗 |
| 久保 真理子 | 山本 幸 | | 高山 智恵子 |
| 佐藤 薫 | 山本 悦子 | | 津田 恭子 |
| 原 徳美 | 脇 ルミ子 | | 村上 美奈子 |

令和6年度 研修部 施設ケアマネ委員会 事業計画(案)

【活動目標】

- 施設ケアマネ同士のつながりを作り、意見交換や相談ができる環境作りを行う。
- 施設ケアマネ向けの研修を行い、入所施設におけるケアマネジメントの質の向上を図る。

【活動内容・計画】

- 令和6年度はオンライン2回と集合1回の計3回の研修を実施する。
- 研修案内は施設(特養、老健、医療院、介護付有料、グループホーム)宛てに送付し、受講者を募り、併せてつ協会への入会案内も行う。
- 施設ケアマネの勤務がシフト制であることが殆どのため、研修開催日の1ヶ月半以上前に案内を送付する。

| 回 | 開催月 | 開催場所 | 参加者数 | 内容 |
|---|-------|------|--------|--|
| 1 | 9月25日 | Zoom | 20～30名 | 「口腔ケア加算について(仮)」 ・講師:大分県歯科衛生士会 副会長 原 徳美氏 ・グループワークによる意見交換等 ○平日13時～15時予定 ○参加費:会員は無料、非会員は3000円 ○修了証の発行あり |
| 2 | 11月 | 集合 | 20名 | 「名刺交換会」 ・交流会として開催 ・テーマ:相談し合える仲間作り ○週末19時頃から予定 ○事前に名刺持参についてアナウンス ○修了証の発行なし |
| 3 | 1～2月 | Zoom | 20～30名 | 「施設ケアプランについて(仮)」 ・講師:未定 ・グループワークによる意見交換等 ○平日13時～15時予定 ○参加費:会員は無料、非会員は3000円 ○修了証の発行あり |

令和6年度 研修部 連携委員会 事業計画(案)

【活動目標】

- 他職能団体との連携を図り、お互いに高め合える活動を展開する。
- 地域包括ケアを意識し、連携の要としての介護支援専門員の役割を再構築する。
- 多職種と知識や理解を深め、実践につながるネットワークを構築する。

【研修内容】

- ケアマネジメントの質の向上とネットワーク構築を目的に3回研修開催。
- コロナ禍で希薄となったケアマネジャー間や関係機関との連携を再構築する。
- 医療・介護連携促進のため、医師、看護師との研修会を継続する。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、集合研修での開催を行う。

【活動計画】

| 回 | 開催月 | 参加者数 | 内 容 |
|---|-----|------|--|
| 1 | 9月 | 50名 | ヤングケアラーへの支援の視点、連携方法を学ぶ ※大分県ヤングケアラー専門アドバイザーよ現状や 支援の視点、連携方法について学ぶ |
| 2 | 11月 | 50名 | 実践報告会(2事例) ※生活困窮、精神疾患など多問題のケースについて実践事例を報告して頂き、 多職種連携や介護保険以外の資源や制度、連携方法について学ぶ |
| 3 | 1月 | 30名 | 第8回 医師・看護師・介護支援専門員の連携を深める研修会 ※医師、看護師との連携について学ぶ |

令和6年度 研修部 主任ケアマネ委員会 事業計画(案)

【活動目標】

- 主任ケアマネが連携し、自ら課題の発見と解決のために自主学習を行う。共同して実力向上を図る。
- 法令の解釈ができるようになる。法令遵守に基づくケアマネジメント業務について、共に学び合い、公正中立かつ利用者本位の事業所を共に目指す。
- スーパーバイザーとして、人材育成を行うための指導力を養う。
- 主任ケアマネ同士で意見交換ができる場を作り、気軽に相談し合える基盤づくりを行う。

【研修内容】

- 主任ケアマネが参加できる研修を3回開催する。
- 基礎研修では、同じ研修を経験の浅い事業所のケアマネと主任ケアマネと一緒に受講し、主任ケアマネは指導に重きを置いた意見交換ができるように、経験の浅いケアマネとは分けてグループワークを行う。
- 特定事業所加算算定要件を満たすための、他制度について学ぶ機会を提供する。
- 主任ケアマネとして人材育成のスキルを学ぶ。

【活動計画】

| 回 | 開催月 | 場所 | 参加者数 | 内容 |
|---|--------|------------------|-------------|---|
| 1 | 8月23日 | 他制度研修 | 主任CM 80人 | 金子先生に学ぶ 「ヤングケアラー・障害・生活困窮など、他制度の活用が 必要な家族支援について(仮題)」 講師: 県立広島大学教授 金子努先生 |
| 2 | 11月13日 | 主任と一緒に学ぶ 基礎研修 | 80名 | 「高齢者に多い疾患について(仮題)」 講師: 明野中央病院 木下昭生先生 |
| 3 | 2月 | 運営指導研修 | 80名 | 「運営指導に備えよう(仮題)」 今年度指導を受けた事業所から情報提供 グループワークによる情報共有 |

令和6年度 収支予算書（案）

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(1) 収入の部

| 勘定科目 | | R6年度予算 | 前期予算 | 前期決算 | 備考 | |
|--------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|--|
| 会費収入 | 正会員会費 | 会費 | 3,725,000 | 3,570,000 | 3,603,000 | LINE▲500円×226名 会員300名 研修▲1000円×107名 (新規30名) |
| | 賛助会員会費 | 個人会員会費 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 団体会員会費 | 0 | 0 | | |
| 事業収入 | 大規模研修事業収入 | | 300,000 | 200,000 | 271,000 | 特別講演会（Web） |
| | 研修事業収入 | | 50,000 | 50,000 | 10,000 | 非会員参加費 |
| 寄付金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 受取利息 | | | 30 | 30 | 30 | |
| 雑収入 | | | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 当期収入合計 | | | 4,085,030 | 3,830,030 | 3,884,030 | |
| 前期繰越金 | | | 3,689,071 | 3,675,018 | 3,675,018 | |
| 収入合計 | | | 7,774,101 | 7,505,048 | 7,559,048 | |

(2) 支出の部

| 勘定科目 | | R6年度予算 | 前期予算 | 前期決算 | 備考 | |
|--------|-----------|---------|-----------|-----------|--|---|
| 事業費 | | | 970,000 | 870,000 | 369,253 | |
| | 連携委員会 | | 150,000 | 100,000 | 99,943 | 場所代、会議費、講師料 |
| | 主任ケアマネ委員会 | | 150,000 | 100,000 | 83,273 | 場所代、会議費、講師料 |
| | 施設ケアマネ委員会 | | 100,000 | 100,000 | 20,018 | 場所代、会議費、講師料 |
| | 大規模研修 | | 300,000 | 300,000 | 55,000 | 2回開催（講師料） |
| | 組織強化部 | | 50,000 | 50,000 | 2,600 | 会議費 |
| | ブロック活動 | | 120,000 | 120,000 | 108,419 | 40000×3ブロック |
| 事業費その他 | | 100,000 | 100,000 | 0 | 研修参加費 | |
| 管理費 | | | 3,844,000 | 3,531,000 | 3,500,724 | |
| | 会議費 | | 50,000 | 50,000 | 34,483 | 総会、理事会 |
| | 旅費交通費 | | 150,000 | 200,000 | 97,000 | 法定研修受付・研修旅費 |
| | 通信費 | | 200,000 | 140,000 | 183,976 | 郵便、切手等 |
| | 消耗品費 | | 100,000 | 30,000 | 83,088 | 封筒、コピー用紙、文具等 |
| | 印刷製本費 | | 100,000 | 50,000 | 80,765 | 印刷費用 |
| | 什器備品代 | | 50,000 | 50,000 | 6,080 | パソコン関連 |
| | 諸会費 | | 2,448,000 | 2,271,000 | 2,292,000 | 大分県協会・日本協会会費 |
| | 支払手数料 | | 40,000 | 40,000 | 38,852 | 振込手数料、振替手数料 |
| | 事務代行費 | | 600,000 | 600,000 | 600,000 | 2万円×12ヶ月（事務局長） 2万円×12ヶ月（補佐） 1万円×12ヶ月（場所代） |
| IT使用料 | | 106,000 | 100,000 | 84,480 | Zoom使用料(40000円) LINE使用料(5500円×12ヶ月) | |
| 当期支出合計 | | | 4,814,000 | 4,401,000 | 3,869,977 | |
| 来期繰越金 | | | 2,960,101 | 3,104,048 | 3,689,071 | |
| 支出合計 | | | 7,774,101 | 7,505,048 | 7,559,048 | |

令和6年度 研修部 研修予定

【研修予定】

| 担当 | 開催月 | 研修名 | 参加者数 | 内容 |
|-----|--------|---------------|--------|---|
| 主任 | 8月23日 | 他制度研修 | 80名 | 金子先生に学ぶ 「ヤングケアラー・障害・生活困窮など、他制度の活用 が必要な家族支援について(仮)」 講師: 県立広島大学教授 金子努先生 |
| 連携 | 9月 | ヤングケアラー | 50名 | 「ヤングケアラーへの支援の視点、 連携方法を学ぶ」 ※大分県ヤングケアラー専門アドバイザーより現状や 支援の視点、連携方法について学ぶ |
| 施設 | 9月25日 | 口腔ケア加算 | 20～30名 | 「口腔ケア加算について(仮)」 講師: 大分県歯科衛生士会 副会長 原 徳美氏 |
| 研修部 | 10月 | 第1回大規模研修 | 100名 | 「楽しく学ぼう面接技術(仮)」 講師: 久留米大学 片岡靖子教授(予定) |
| 主任 | 11月13日 | 主任と学ぶ 基礎研修 | 80名 | 「高齢者に多い疾患について(仮)」 講師: 明野中央病院 木下昭生先生 |
| 連携 | 11月 | 実践報告会 | 50名 | 実践報告会(2事例) ※生活困窮、精神疾患など多問題のケースについて実 践事例を報告して頂き、多職種連携や介護保険以外の 資源や制度、連携方法について学ぶ |
| 施設 | 11月 | 名刺交換会 | 20名 | 相談しあえる仲間づくり 施設ケアマネ「名刺交換会」 |
| 研修部 | 12月 | 第2回大規模研修 | 100名 | 「幸福であるかどうかに認知症の有無は関係ない」 ～最新の治療薬と認知症の方への接し方～(仮) 講師: 順天堂大学医学部 名誉教授 アルツクリニック東京院長 新井平伊先生(予定) |
| 連携 | 1月 | 医師・訪問看護との連携 | 30名 | 第8回 医師・看護師・介護支援専門員の連携を深める研修会 |
| 施設 | 1～2月 | 施設ケアプラン | 20～30名 | 「施設ケアプランについて(仮)」 講師: 未定 グループワークによる意見交換等 |
| 主任 | 2月 | 運営指導研修 | 80名 | 「運営指導に備えよう(仮)」 今年度指導を受けた事業所から情報提供 グループワークによる情報共有 |